



## 平成26年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成25年7月31日

上場取引所 東名

上場会社名 CKD株式会社

コード番号 6407 URL <http://www.ckd.co.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長

(氏名) 梶本 一典

問合せ先責任者 (役職名) 経理部長

(氏名) 舟橋 典孝

TEL 0568-74-1006

四半期報告書提出予定日 平成25年8月8日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

### 1. 平成26年3月期第1四半期の連結業績(平成25年4月1日～平成25年6月30日)

#### (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
26年3月期第1四半期	16,528	0.8	1,434	62.3	1,449	40.7	1,189	65.9
25年3月期第1四半期	16,396	△6.2	883	△16.6	1,030	△18.9	716	△14.1

(注) 包括利益 26年3月期第1四半期 1,987百万円 (168.9%) 25年3月期第1四半期 739百万円 (△21.9%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
26年3月期第1四半期	19.05	—
25年3月期第1四半期	11.30	—

#### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
26年3月期第1四半期	75,928	52,581	69.3
25年3月期	71,742	50,852	70.9

(参考) 自己資本 26年3月期第1四半期 52,581百万円 25年3月期 50,852百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
25年3月期	—	5.00	—	5.00	10.00
26年3月期	—	—	—	—	—
26年3月期(予想)	—	7.00	—	7.00	14.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

### 3. 平成26年3月期の連結業績予想(平成25年4月1日～平成26年3月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	35,200	8.2	2,800	91.4	2,800	76.6	1,900	71.7	30.21
通期	73,000	12.3	6,000	84.9	6,000	70.6	3,900	59.0	62.02

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)

26年3月期1Q	69,429,349 株	25年3月期	69,429,349 株
----------	--------------	--------	--------------

② 期末自己株式数

26年3月期1Q	6,976,093 株	25年3月期	6,976,074 株
----------	-------------	--------	-------------

③ 期中平均株式数(四半期累計)

26年3月期1Q	62,453,279 株	25年3月期1Q	63,453,684 株
----------	--------------	----------	--------------

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、四半期決算短信(添付資料)2ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

## ○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	2
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
(4) 追加情報	3
3. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	5
四半期連結損益計算書	5
四半期連結包括利益計算書	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	7
(継続企業の前提に関する注記)	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	7
(セグメント情報等)	7
4. 補足情報	8
〔生産、受注及び販売の状況〕	8

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

## (1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間におけるわが国経済は、日銀による金融緩和策や政府による各種経済政策の効果に加え、住宅投資や個人消費の改善などから、内需は底堅く推移いたしました。

一方、海外経済は、債務問題が依然として続く欧州の景気は回復には至っておりませんが、米国は減税措置などの経済政策を基に回復し、また、アジア地域は一部に弱さが残るものの緩やかに成長いたしました。

こうした中、為替が円安に変動したこともあり、自動車や資本財を中心に輸出も好転し、日本の鉱工業生産は持ち直したことから、設備投資も増加いたしました。

このような状況のもとで、当社の当第1四半期連結累計期間の業績は、売上高16,528百万円（前年同四半期比0.8%増）、損益面では、営業利益1,434百万円（前年同四半期比62.3%増）、経常利益1,449百万円（前年同四半期比40.7%増）、四半期純利益1,189百万円（前年同四半期比65.9%増）となりました。

セグメントの業績は、次のとおりであります。

## ① 自動機械部門

主力商品の薬品自動包装システムは、ジェネリック医薬品普及促進と医療用医薬品安全対応に向けた設備投資が拡大し、売上は増加いたしました。

一方、車載用電池の設備投資が見送られたリチウムイオン電池製造システム、海外の情報通信機器関係の設備投資が縮小した三次元はんだ印刷検査機の売上は減少いたしました。

その結果、売上高は3,398百万円（前年同四半期比44.5%増）、営業利益は429百万円（前年同四半期比161.5%増）となりました。

## ② 機器部門

国内市場では、安定的な成長が続く医療分析装置、設備投資がアジアで活発化しているF P D製造装置向けの売上は増加いたしました。一方、設備投資が減少した半導体や自動車業界向け、輸出が不調に転じた工作機械向けの売上は減少いたしました。

海外市場では、経済回復が進む米国及び半導体やF P Dの設備投資が好調な東アジアの売上は増加いたしました。一方、東南アジアは、前年同四半期に需要増の要因となったタイの水害復興特需が終了した影響から売上は減少いたしました。

その結果、売上高は13,130百万円（前年同四半期比6.5%減）、営業利益は1,575百万円（前年同四半期比17.0%増）となりました。

## (2) 財政状態に関する説明

当第1四半期連結会計期間末における総資産は、前連結会計年度末に比べ4,185百万円増加の75,928百万円となりました。これは主に、現金及び預金、売上債権並びにたな卸資産が増加したことによるものであります。

負債は、前連結会計年度末に比べ2,457百万円増加の23,347百万円となりました。これは主に、借入金が増加したものの、仕入債務及び賞与引当金が増加したことによるものであります。

純資産は、前連結会計年度末に比べ1,728百万円増加の52,581百万円となりました。

自己資本比率につきましては、前連結会計年度末に比べ1.6ポイント減少の69.3%となりました。

## (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

当第1四半期連結会計期間におきましては、前第4四半期連結会計期間と比べて海外では総じて売上が増加いたしました。また、損益面では、生産性の改善が進んだことに円安の効果も加わり、利益は増加いたしました。

今後も、景気に持ち直しの動きが期待されるものの、欧州経済の停滞や為替レートの変動、新興国の経済成長の鈍化などの外部リスクにも注視していくことが必要となります。

このような状況から、現時点では第2四半期連結累計期間及び通期の予想については、平成25年5月10日に発表いたしました業績予想から変更はございません。

## 2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動  
該当事項はありません。
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用  
該当事項はありません。
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示  
該当事項はありません。

### (4) 追加情報

#### (退職給付制度の改定)

当社は平成25年4月1日付で確定給付企業年金制度及び確定拠出年金制度を改定するとともに、確定給付企業年金制度の一部を確定拠出年金制度に移行し、確定拠出年金制度が退職給付制度に占める割合をこれまでの20%から50%に引き上げております。この移行に伴い、「退職給付制度間の移行等に関する会計処理」(平成14年1月31日 企業会計基準適用指針第1号)及び「退職給付制度間の移行等の会計処理に関する実務上の取扱い」(平成14年3月29日 実務対応報告第2号)を適用し、確定拠出年金制度への移行部分について退職給付制度の一部終了の処理を行い、当第1四半期連結累計期間に特別利益として294百万円を計上しております。

## 3. 四半期連結財務諸表

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成25年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成25年6月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	7,322	9,461
受取手形及び売掛金	16,294	16,526
営業未収入金	2,355	2,845
有価証券	3,000	3,000
商品及び製品	3,915	3,722
仕掛品	2,072	2,548
原材料及び貯蔵品	10,192	10,334
その他	2,500	2,563
貸倒引当金	△71	△75
流動資産合計	47,582	50,928
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	7,178	7,196
その他(純額)	11,164	11,300
有形固定資産合計	18,342	18,497
無形固定資産	823	801
投資その他の資産	4,994	5,700
固定資産合計	24,160	24,999
資産合計	71,742	75,928
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	8,035	8,921
短期借入金	2,909	2,837
未払法人税等	201	291
賞与引当金	73	848
その他の引当金	445	446
その他	5,139	5,448
流動負債合計	16,804	18,792
固定負債		
長期借入金	2,161	2,031
引当金	118	135
その他	1,805	2,388
固定負債合計	4,085	4,554
負債合計	20,890	23,347
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	11,016	11,016
資本剰余金	12,737	12,737
利益剰余金	31,273	32,150
自己株式	△4,832	△4,779
株主資本合計	50,194	51,124
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	622	813
為替換算調整勘定	36	643
その他の包括利益累計額合計	658	1,456
純資産合計	50,852	52,581
負債純資産合計	71,742	75,928

## (2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

## 四半期連結損益計算書

## 第1四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年6月30日)
売上高	16,396	16,528
売上原価	11,984	11,494
売上総利益	4,411	5,034
販売費及び一般管理費	3,527	3,599
営業利益	883	1,434
営業外収益		
受取利息	2	3
受取配当金	49	45
為替差益	78	—
その他	69	73
営業外収益合計	200	123
営業外費用		
支払利息	16	17
売上割引	23	29
為替差損	—	50
その他	13	10
営業外費用合計	53	108
経常利益	1,030	1,449
特別利益		
固定資産売却益	0	1
退職給付制度改定益	—	294
特別利益合計	0	295
特別損失		
固定資産売却損	0	0
固定資産除却損	1	2
特別損失合計	1	3
税金等調整前四半期純利益	1,029	1,741
法人税、住民税及び事業税	51	194
法人税等調整額	260	357
法人税等合計	312	551
少数株主損益調整前四半期純利益	716	1,189
四半期純利益	716	1,189

## 四半期連結包括利益計算書

## 第1四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年6月30日)
少数株主損益調整前四半期純利益	716	1,189
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△257	191
為替換算調整勘定	279	606
その他の包括利益合計	22	798
四半期包括利益	739	1,987
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	739	1,987
少数株主に係る四半期包括利益	—	—

## (3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

## 【セグメント情報】

## I 前第1四半期連結累計期間(自平成24年4月1日至平成24年6月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント			調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	自動機械部門	機器部門	計		
売上高					
外部顧客への売上高	2,352	14,044	16,396	—	16,396
セグメント間の 内部売上高又は振替高	—	48	48	△48	—
計	2,352	14,092	16,445	△48	16,396
セグメント利益	164	1,346	1,510	△626	883

(注) 1. セグメント利益の調整額△626百万円には、セグメント間取引消去8百万円及び各報告セグメントに配分していない全社費用△635百万円が含まれております。全社費用は、主に当社の管理部門に係る費用及び長期的な基礎的研究費用並びにCKDグローバルサービス株式会社に係る費用であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

## II 当第1四半期連結累計期間(自平成25年4月1日至平成25年6月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント			調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	自動機械部門	機器部門	計		
売上高					
外部顧客への売上高	3,398	13,130	16,528	—	16,528
セグメント間の 内部売上高又は振替高	—	32	32	△32	—
計	3,398	13,162	16,561	△32	16,528
セグメント利益	429	1,575	2,004	△569	1,434

(注) 1. セグメント利益の調整額△569百万円には、セグメント間取引消去8百万円及び各報告セグメントに配分していない全社費用△578百万円が含まれております。全社費用は、主に当社の管理部門に係る費用及び長期的な基礎的研究費用並びにCKDグローバルサービス株式会社に係る費用であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

## 4. 補足情報

〔生産、受注及び販売の状況〕

## (1) 生産実績

当第1四半期連結累計期間における生産実績をセグメントごとに示すと、次のとおりであります。

セグメントの名称	生産高 (百万円)	前年同四半期比 (%)
自動機械部門	3,286	+45.7
機 器 部 門	12,903	△9.4
合 計	16,189	△1.9

- (注) 1. セグメント間取引については、相殺消去しております。  
 2. 金額は、販売価格によっております。  
 3. 上記の金額には、消費税等は含まれておりません。

## (2) 受注実績

当第1四半期連結累計期間における受注実績をセグメントごとに示すと、次のとおりであります。

セグメントの名称	受注高 (百万円)	前年同四半期比 (%)	受注残高 (百万円)	前年同四半期比 (%)
自動機械部門	3,222	△14.1	8,584	△3.1

- (注) 1. 自動機械部門以外は、需要見込による生産方法をとっております。  
 2. 上記の金額には、消費税等は含まれておりません。

## (3) 販売実績

当第1四半期連結累計期間における販売実績をセグメントごとに示すと、次のとおりであります。

セグメントの名称	販売高 (百万円)	前年同四半期比 (%)
自動機械部門	3,398	+44.5
機 器 部 門	13,130	△6.5
合 計	16,528	+0.8

- (注) 1. セグメント間取引については、相殺消去しております。  
 2. 上記の金額には、消費税等は含まれておりません。